

定期公演に向けてがんばってます!!

子ども演劇教室が5月に開講しました。今年は新たに7人のメンバーが加わり、合わせて13人で活動していくことになりました。小学2年生から中学1年生まで個性豊かなメンバーが集まりました。7月20日、21日には川西町交流館あいばるで合宿を行い、9月の定期公演に向けて集中した稽古に取り組みました。合宿で初めて台本が渡され、配役が決まり、みんな気合が入った様子でした。暑い中ダンスの練習もあり、体力的に厳しい状態でも最後まで力をふりしぼっていました。この合宿でつちかった個々の演技力と協調性を活かし、定期公演ではすばらしいお芝居を披露してくれるものと確信しています。

(富田)



子ども演劇教室
定期公演

9月23日(月・祝)
「カメかな カメだったり」
作：佐藤満徳 曲・振付：梅津郁子
時間：14時開演
会場：フレンドリープラザ・ホール
★ぜひお気軽にお越しください!

入場無料



ヘンテコぼうしつくっちゃおう!
ワークシヨップを終えて

7月6日(土)に図書館事業として、絵本作家・はたこうしろうさんをお招きし『ヘンテコぼうしつくっちゃおう!』ワークシヨップを実施しました。はたさんは絵本作家・イラストレーターとして活動されており、『ショコラちゃんシリーズ』や『しりとり』のだいすきなおうさま』などの挿絵を手がけられています。はたさんがワークシヨップで東北を訪れるのは今回が2回目、山形県は初ということで、お隣の宮城県から参加してくださったファンの方もいらっしゃいました。

ワークシヨップでは、黒い用紙を帽子の形に組み立て、折り紙や新聞紙、シールやテープなどで飾りつけて、世界に一つだけの帽子を作りました。参加者は全員(子どもも大人も)必ず一つの帽子を作るというはたさんの方針の下、みなさん時間を忘れて作業していたのが印象的でした。子どもたちの発想力はすばらしく、帽子をお面に見立てて目の部分をくりぬいてみたり、カラフルな画用紙を丸めて作った角を

何本も生やしてみたりと、まさに世界に一つだけの帽子が次々と生まれていきました。一方で、「お父さん、お母さんは子どもに勝つつもりで面白い帽子を作ってくださいー子どもに負けるなー」というはたさんの言葉に励まされ、保護者の方からも力作ができていました。人は年齢を重ねていくほど型にはまった考え方になる傾向があるそうなので、自由な発想力を育てるためには、子どものうちから正解のない美術や文学に触れておくことが大切なのだと思えて考えさせられました。

今後も図書館として、未来を担う子どもたちのすばらしい発想力を育てていくことのできるような活動を企画していきたいです。

(町立図書館司書 児童書担当 鈴木)

はたこうしろう先生はじめ、お越しいだいた皆さまありがとうございました!

はたこうしろう 1963年生まれ

絵本作家、イラストレーター。またブックデザインも数多く手がける。絵本に『ショコラちゃん』シリーズ、『どしゃぶり!』(講談社)、『なつのいちにち』(偕成社)、『むしとりにいこうよ』『みちくさしようよ』(ほるぷ出版)、『まほうの夏』(岩崎書店)、『クーとマーのおぼえるえほん』シリーズ(ポプラ社)、『ぼくはうちゅうじん』(アリス館)など多数。



川西町フレンドリープラザ
附属演劇学校 朗読倶楽部

星座

作品の魅力を、声で表現する「星座」

みなさんは「朗読」というと、どのようなイメージをお持ちですか。「星座」の公演を観た方は、その意外性に驚かされます。舞台上を大きく使ったダイナミックな動き、会場に響きわたる力強い声。出演者が台本を手にしたリーディング公演は、いま全国で注目されています。今年7月には第2回公演『午後の朗読会 VOL.2』で『土神ときつね』と『走れメロス』の2本を上演。8月には寒河江市立図書館の図書館まつりに招待され、館外公演を成功させることができました。14人のメンバーの個性も輝きを増し、「星座」はこれからも進化していきます。次の公演は2019年12月。ぜひ舞台をご覧ください。メンバーは随時募集中で、興味のある方なら誰でも参加可能です。(米野)



写真：午後の朗読会 第2回公演『走れメロス』より。

LIBRARY

大人のための
夜の図書館

Vol.18

9/11

水曜日

青年海外協力隊 OB が語る、チョコレートだけじゃないガーナの話

時間▷19:00~20:00 場所▷川西町立図書館・遼筆堂文庫 参加費▷無料(チョコレート付)

★コーディネーター：林 俊宏(川西町地域おこし協力隊・遼筆堂文庫研究員)

町立図書館
からの
お知らせ